【令和６年度　和泉小学校　学校経営全体構想図】

令和６年４月１日
狛江市立和泉小学校
校長　鷲見　真太郎

令和６年度　学校教育目標

東京都の教育目標

○自ら行動する子
○かかわり合い、
　よりよい自分を目指す子

狛江市の教育目標

目指す学校の姿　子供と大人が協働して築く和泉小学校

目指す児童の姿　あるがままの自分を愛し、前向きに生きる子

ウェルビーイング　エージェンシー

「問い」をもって学び続ける児童

☆全教科領域で、子供たちが「問い」をもって学ぶ
　→内発的動機付け
　→子供が主体となった学び
☆教師と子供が協働して作るカリキュラム
　→子供の「問い」をもとにした問題解決学習
　→子供自身が作る学習計画（探究活動）
　→柔軟なカリキュラムをマネジメント
☆学年経営マップの活用
　→教師と児童の共通目標・振り返り
☆体験的な学び
　→地域との協力（GT を大いに活用）

自分たちで作る和泉小学校

☆児童運営委員会による学校運営
　→委員会・クラブを統括し、学校を動かす
　→子供たちが作る学校行事
　→自己実現を図る生活指導
　→学級会・係活動の充実
☆「対話」を通した解決（ICT の活用）
　→互いの話を傾聴する
　→最上位目標を確認する
　→どうしたいか、どうすればよいか考える
☆循環型学校農園（育てる・食べる・売る）
　→自分たちが食べるものを自分たちの手で
　→栽培、献立、収穫、販売等を自分たちで

児童全員の居場所づくり　～みんな同じじゃなくていい・「ちゃんと」を強制しない学校～

○すべての子供を全員が見取る学校環境・・・全教職員が共有（学年担任制）
○心理的安全性の確保・・・子供のありのままを受け入れる、いじめへの迅速かつ組織的な対応
○ケアし合う集団作り・・・誰一人置いていかない、誰一人取りこぼさないことを目指す
○WEBQU の積極的活用（データの分析・比較と情報共有）・・・児童が支え合う学級集団づくり
○外部機関との連携・・・チーム学校として外部機関も含めた一体的な対応
○多様性を認める集団づくり・・・知り、理解し、対話する

前向きな姿勢で子供と向き合う教職員集団

○よりよい教育をモチベーション高く模索し続ける
○自身の強みを理解し、磨き続ける
○子供の内面を理解し、ありのままを受け入れる
○子供への愛情を共有し、保護者と信頼関係を築く
○危機意識を高くし、緊急時には迅速に対応する
○願いや思いを地域と共有する

地域・保護者との協働（CS の発展）

○スクールコミュニティの強化
　・誰もが関わる学校農園
　（学年・保護者・地域を問わず）
　・地域カレンダーづくりとその活用
　・地域と協働した活動（サマー和泉、花火大会など）
○幼保中高との連携（連続性を意識）
　・児童の意欲を高めるつながり作り